

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名：福岡市立心身障がい福祉センターありんこ園

保護者等数（児童数） 40

回収数 34

割合 85%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	1	0	・このまま成長すると狭く感じるのかも。	療育室は国の基準を満たした上で目的に応じて使用しております。活動等に合わせた適切な広さの部屋を準備いたします。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	3	0	2		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	6	0	0	・まだ小さいので何とも言えないが古い施設なので。 ・トイレが使いづらいです。	建物の老朽化に伴い特に水回りについてはご不便をおかけしております。現在、段階的な改修を進めており次年度からトイレの改修工事を進める予定です。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	4	2	0	・古い施設なので。 ・お手洗いは職員の皆さんにとってきれいとは言えず、改善した方が働きやすさにつながると思います。	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	31	3	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	2	0	6	・比較するものがないので分からない。（ピンとこない）	児童発達支援ガイドラインについて十分な情報提供が行えておらず申し訳ありません。次期の児童発達支援計画の提示に際し、改めてご説明を行います。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	3	0	1		
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	23	8	1	1 未回答： 1		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	10	8	5	・分からない。 ・保育園も併用しているため私たちの家族は特段ニーズはありません。	当園では3歳以上児を中心に受け入れ、幼稚園や保育園と並行通園をしている児童が利用していますので、交流の機会はあえて設定しておりません。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	1	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30	2	0	2		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	29	4	0	1	・学習会が行われているが少ない。もう少し濃い内容希望します。	学習会の内容について、保護者の方からのご希望もふまえながら、改めて見直しを行いたいと思います。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	2	0	1			
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	3	0	1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	6	1	2			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	3	0	1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2	0	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	6	1	5			
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31	3	0	0			
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	6	0	1			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	5	1	3			
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	はい 28	やや楽しみにしている 4	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1	・いつも先生に会えるのを楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も、子どもたちにとって安心できる楽しい場を提供できるよう努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	はい 24	やや満足している 9	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0	・もっとできることがあるような気がする。(満足していますが・・・)	

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....